

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆体力増すシニア、30代女性は低下目立ち「将来に懸念」 スポーツ庁調査

・高齢者の体力が向上している。スポーツ庁が公表した2024年度の体力・運動能力調査によると、70代で平均より高い体力があった人は過去30年でほぼ倍増。一方で30代の体力は低迷しており、将来の健康に影響する懸念もある。各年代(いずれも後半)で比較すると、シニア世代で増加が目立った。

◆片山さつき新財務・金融相、金融界は歓迎 財務省はスタンス見極めへ

・財務相への就任が決まった片山さつき氏は金融相を兼ねる。経験豊富な同氏の手腕に期待する声が金融界では目立つ。自民党の金融調査会長を2021年から4年務め、金融行政や金融機関の事情に詳しい。金融庁内からは「業界の課題をよく分かっていて、頼もしい」(幹部)との声上がる。

◆Anker、バッテリーなど約52万台自主回収 6月に続き

・中国系モバイルバッテリー大手のアンカー・ジャパンはモバイルバッテリーやスピーカーなど計4製品52万2237台を自主回収すると発表。リチウムイオン電池のセルの製造過程に不備があり、使用を続けると発火のリスクがある。同社は6月にもモバイルバッテリーの自主回収を発表していた。回収するのは「Anker PowerCore 10000」など4製品。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆白物家電出荷額、4～9月3.5%増 猛暑でエアコン好調

・日本電機工業会(JEMA)は4～9月の白物家電の出荷額が前年同期比3.5%増の1兆3911億円だったと発表した。全国的に気温が高く推移したためエアコンが好調で、直近の上期では1991年に次ぐ2番目に大きい金額となった。インバウンド(訪日外国人)の増加により、電気シェーバーなどの理美容家電も伸びた。

◆9月の工作機械受注、3カ月連続プラス 航空など伸び

・日本工作機械工業会が発表した9月の工作機械受注総額(確報値)は前年同月比11%増の1391億円だった。前年実績を上回るのは3カ月連続。米国の航空関連などの外需が伸び、国内も航空や造船向けが好調だった。受注総額全体の3分の2を占める海外向けは14%増の955億円。アジア向けも16%増の496億円と2カ月ぶりに前年実績上回る。

◆子育てグリーン事業でリフォーム工事下限額を緩和 2万円に

・国土交通省と環境省が実施する「子育てグリーン住宅支援事業」で、他の事業を併用したリフォーム工事での交付申請額の下限や、分譲住宅の販売事業者が新築分譲住宅を申請する場合の上限数見直しに。「住宅省エネ2025キャンペーン」の他事業を併用する場合に限り、交付申請額の合計の下限が2万円となる。受け分は対象外。

《 注目商品 》

■LIXIL、レイアウトフリーの「Module Garden(モジュールガーデン)」

・5種類のモジュールをパズルのように組み合わせてつくるウッドデッキシリーズ。90cm幅のデッキモジュールやフレームを並べ、デッキの上には高さ約30cmで統一されたボックス、ベンチ、レールのモジュールを自由にレイアウトできる。



■パナソニック、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ

・パソコン画面や紙の文字が見やすい光で明るく照らす「パソコンくっきり光」と「文字くっきり光」を全機種に標準搭載し、豊富なデザインや部屋の広さで選べるラインアップに一新した、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ計15品番を発売。



■トクラス、「Bb+(ビービープラス)」普及価格帯キッチンモデルチェンジ

・リフォーム向けの普及価格帯キッチンモデルチェンジ。袖壁付き造作対面キッチン、アイランド型、L字型などさまざまなレイアウトに対応。「カウンター間口調整」や、梁や柱に合わせてカットできるレンジフードの「幕板仕様」を追加するなど建築対応力を強化。

